

平成29年 9月 20日
国土交通省九州地方整備局
緑川ダム管理所

【速報】台風18号に伴う大雨における 緑川ダム防災操作の効果について

緑川ダムでは、9月17日に防災操作を行いました。

ダムへ流れてくる水量の一部をダムへ貯めることで、ダム下流へ流す水量を最大で約3割低減しました。

これにより、ダム下流の中甲橋水位観測地点において、河川の水位を約51センチメートル低下させる効果があったと推測されます。

- ・ 緑川ダムでは、17日15時30分に1,202 m³/sの流入があり、そのうち332 m³/sを貯留して870 m³/sを流し、下流の浸水を緩和しました。

- ・ おのじり 尾野尻雨量観測所の総雨量：239 mm（15日6時～18日4時）

- ・ ないだいじん 内大臣雨量観測所の最大1時間雨量：69 mm（17日13時～14時）

※観測所所在地

おのじり
尾野尻雨量観測所：熊本県上益城郡山都町西高山543-1

ないだいじん
内大臣雨量観測所：熊本県上益城郡山都町菅字菅内大臣国有林43ソ小班

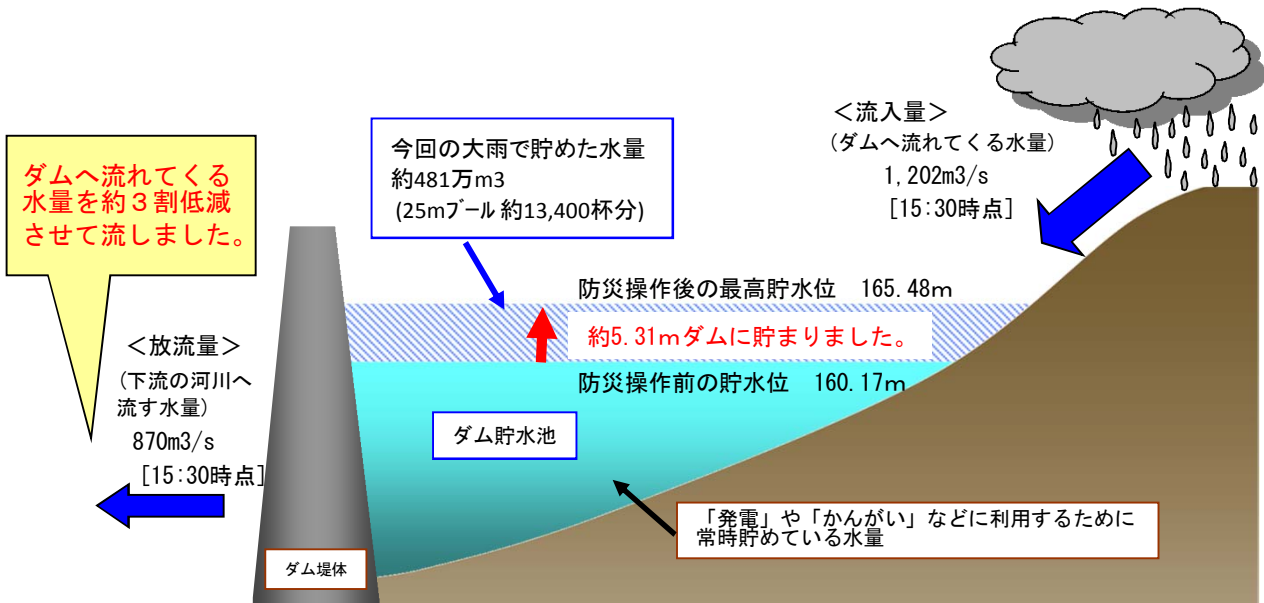
緑川ダム管理所HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/midori/>

問い合わせ先：国土交通省 緑川ダム管理所

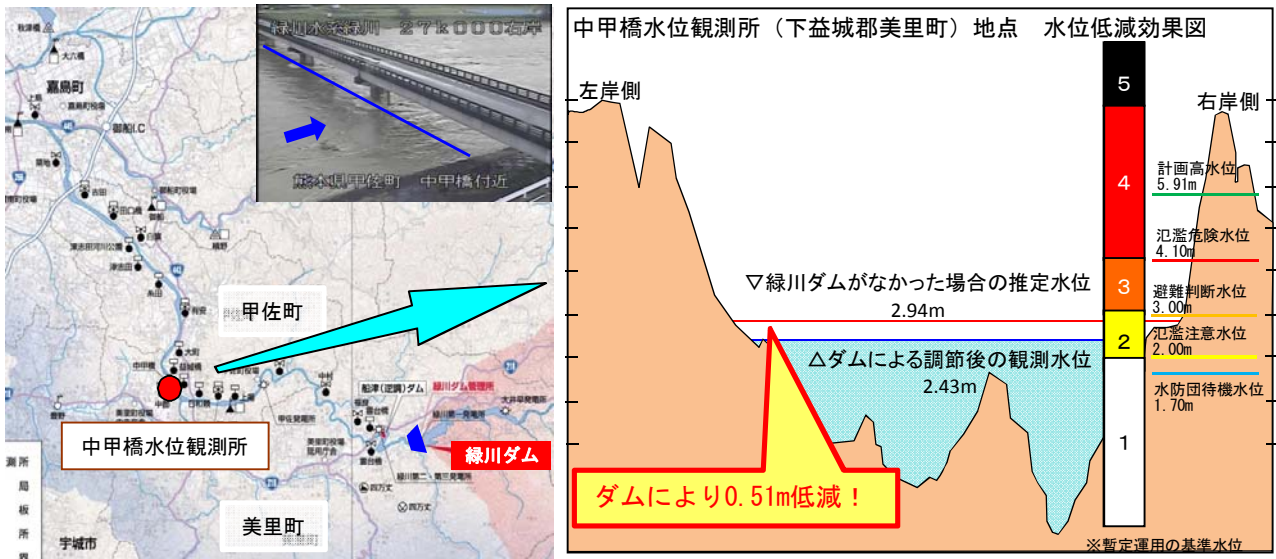
専門官 岩崎 靖生

電話：0964-48-0216（代） FAX：0964-48-0752

【緑川ダムの防災操作】



【緑川ダムにおける水位低減効果(最大)】



※ダムがなかった場合の河川推定水位やその低減量等、本発表における数値は速報値です。最終的に整理される数値とは異なる場合があります。